



ふくやまし

福山市

Fukuyama City

福山市下水道事業における水の官民連携 (ウォーターPPP) 導入検討に関する マーケットサウンディング調査結果の 概要について

2026年（令和 8 年） 10 月

福山市上下水道局 工務部 上下水道計画課

アンケートの実施について

1. 概 要

福山市は下水道施設の維持管理等を持続的かつ効果的に実施するため、現在、水の官民連携（ウォーターPPP）（以下、「W-PPP」という。）の導入を進めております。

導入の検討にあたり、民間事業者のみなさまの参入意向や事業内容に対するお考えを把握するため、第1回マーケットサウンディング調査を実施しました。

2. 調査方法

電子メールによる回答方法

3. 調査期間

令和8年8月17日～令和8年8月31日

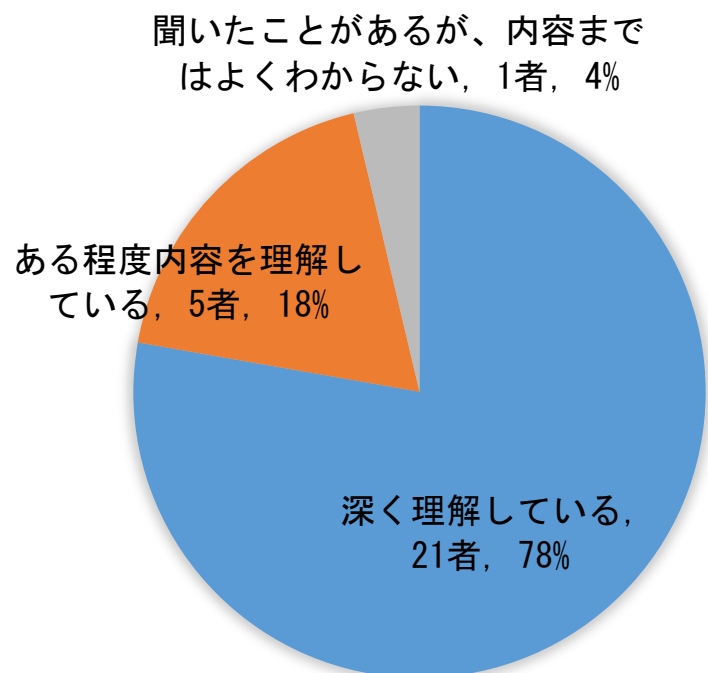
4. 回答者数

27者（市内事業者3者 市外事業者24者）

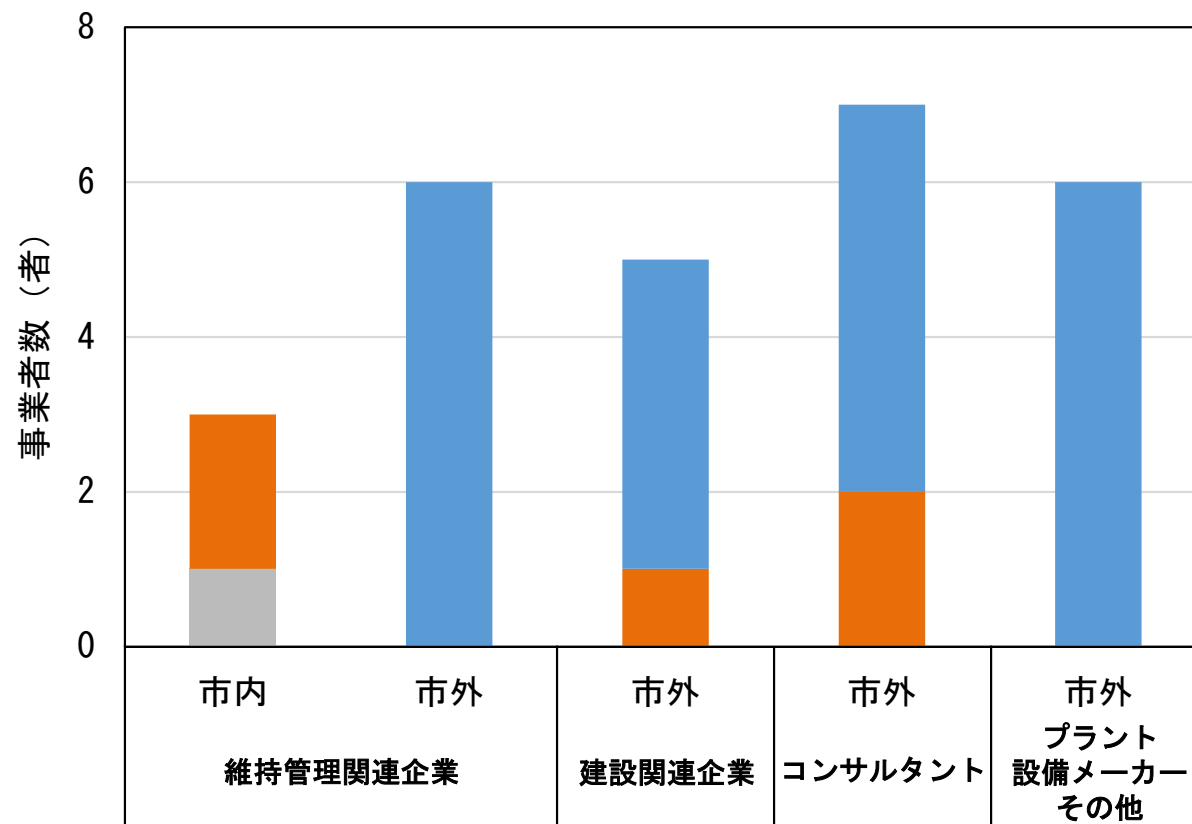
5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

2.1 W-PPPへの認識についてお答えください。

認知度調査



■ 深く理解している ■ ある程度理解している ■ よくわからない



【結果】

W-PPPについて、9割以上の企業が内容を理解していました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

2.2 W-PPPへの参入に向けた取組や検討の状況についてお答えください。

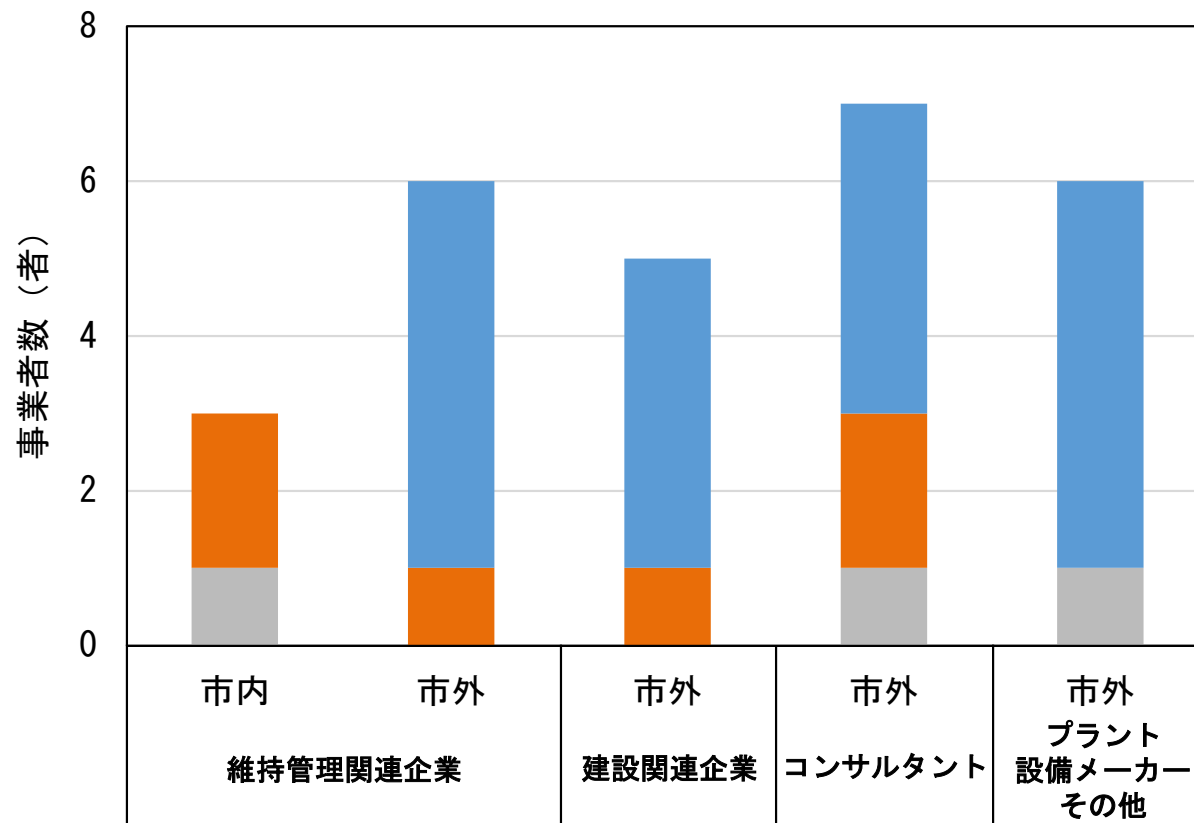
取組状況調査

参入に向けた取組みや検討は行っていないが、関心はある、
3者、11%

参入に向けた検討を行っている、
6者、22%

参入に向けた具体的な取組を進めている、
18者、67%

■ 深く理解している ■ ある程度理解している ■ よくわからない



【結果】

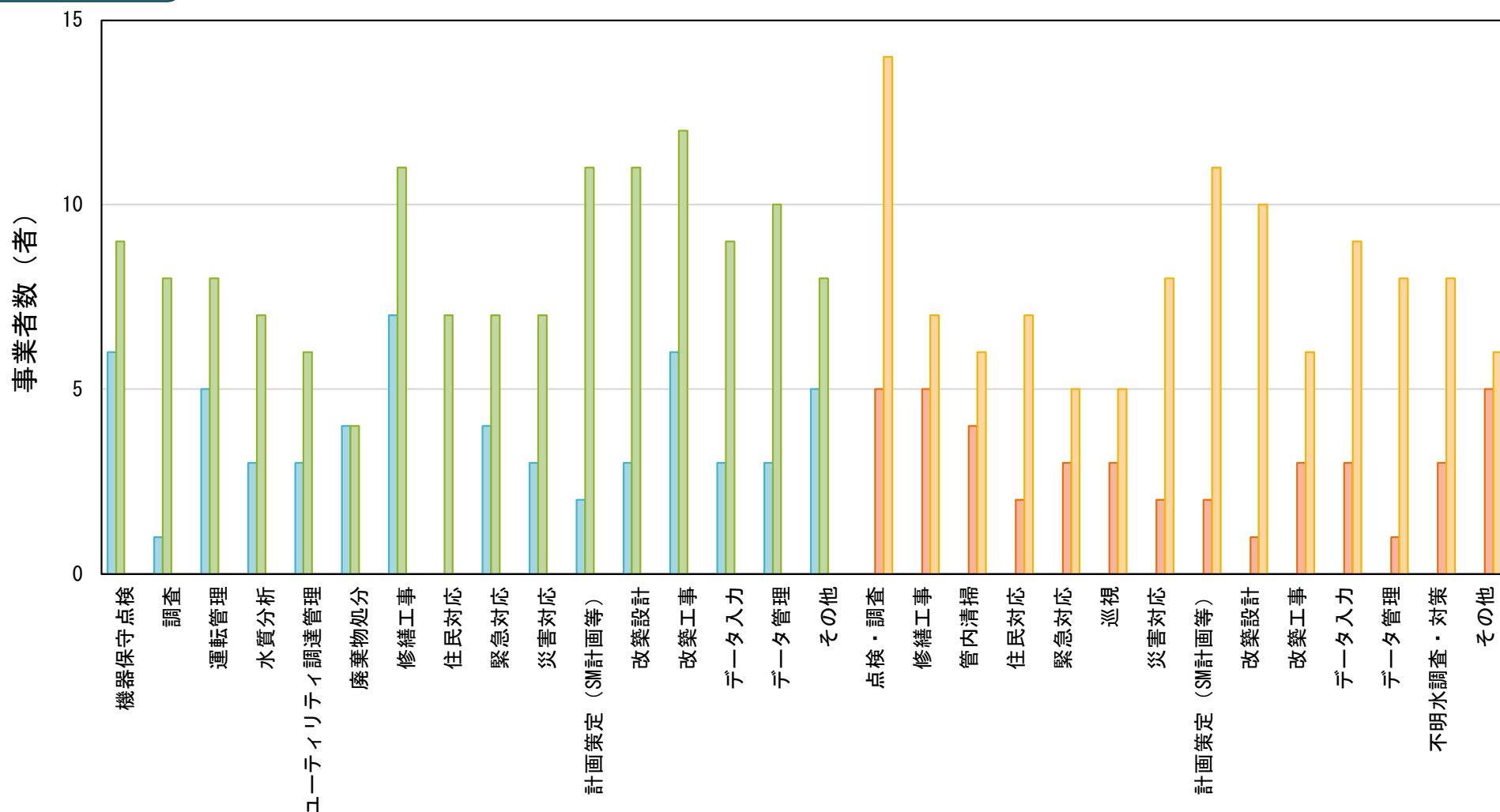
約9割の企業が参入に向けた具体的な取組又は検討を行っていました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

3.1 本市内・市外における過去5カ年の主な業務について（複数回答可）

事業実績

■【処理場・ポンプ場】本市内 ■【処理場・ポンプ場】本市外 ■【管路施設】本市内 ■【管路施設】本市外



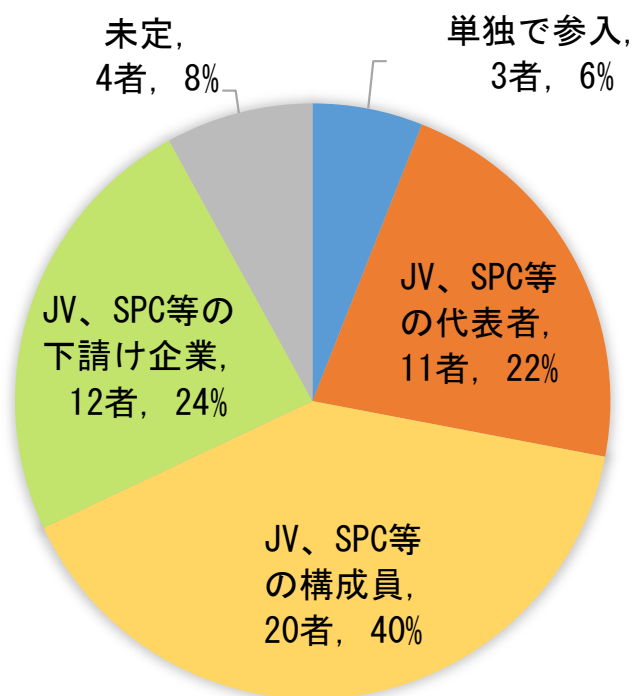
【結果】

市内外の実績を合わせると、全業務分野で複数の事業者による実績が確認されました。

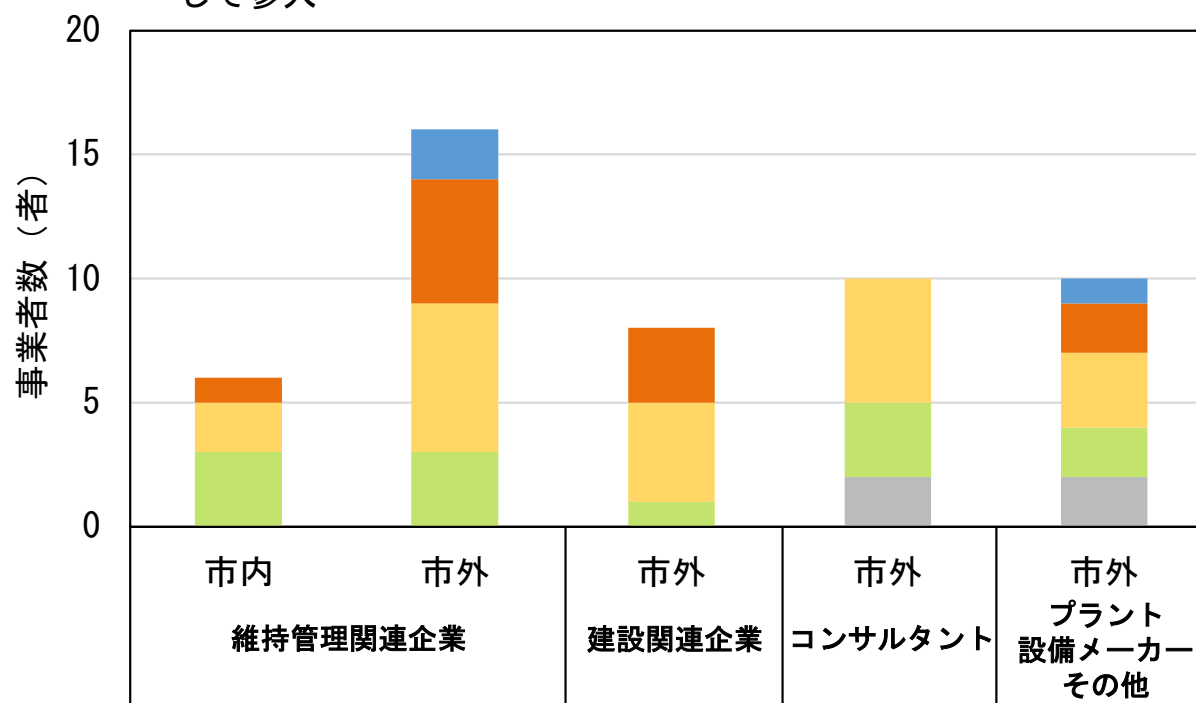
5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

4. 1 W-PPPへ参入する場合に想定される貴社体制についてお答えください。 (複数回答可)

参入体制



- 単独で参入
- グループ(JV、SPC等)の代表者として参入
- グループ(JV、SPC等)の構成員(JV、SPC等への出資あり)として参入
- グループ(JV、SPC等)の下請け企業(JV、SPC等への出資なし)として参入



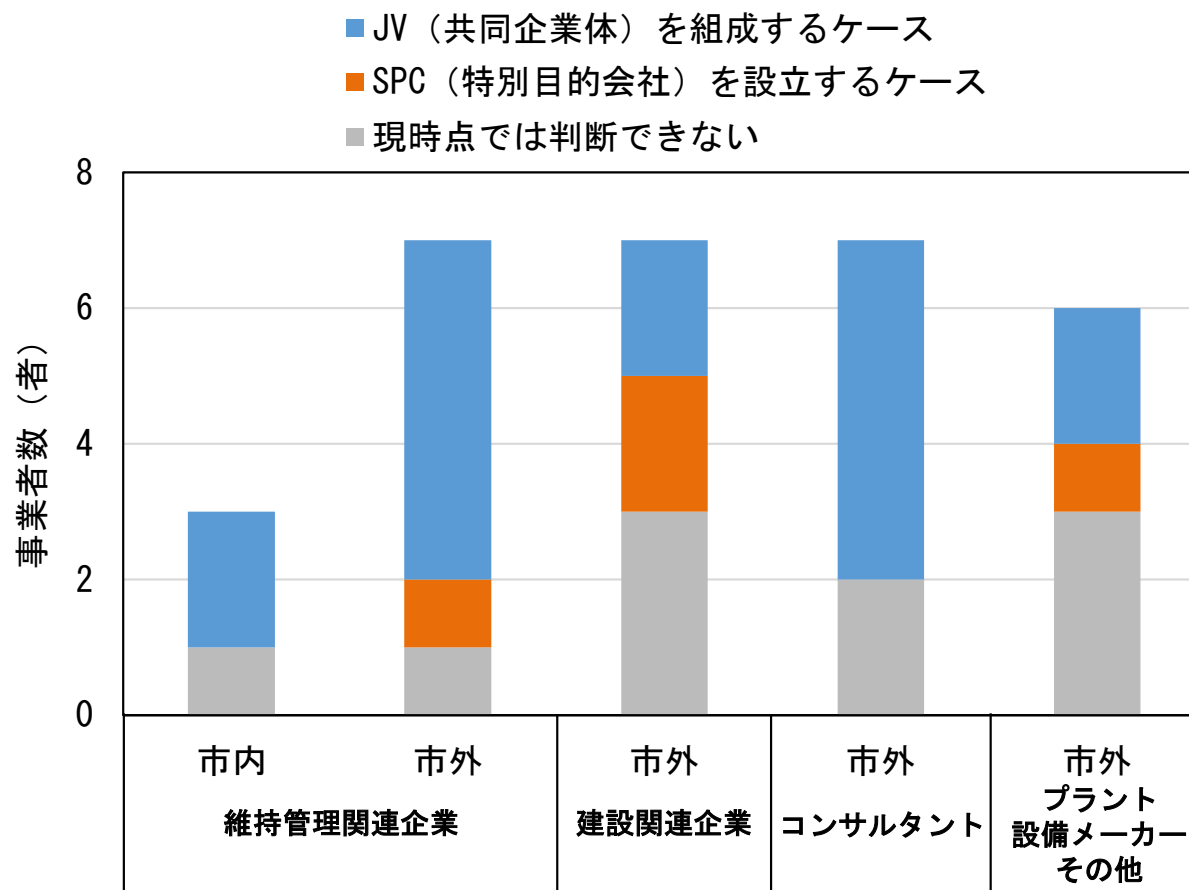
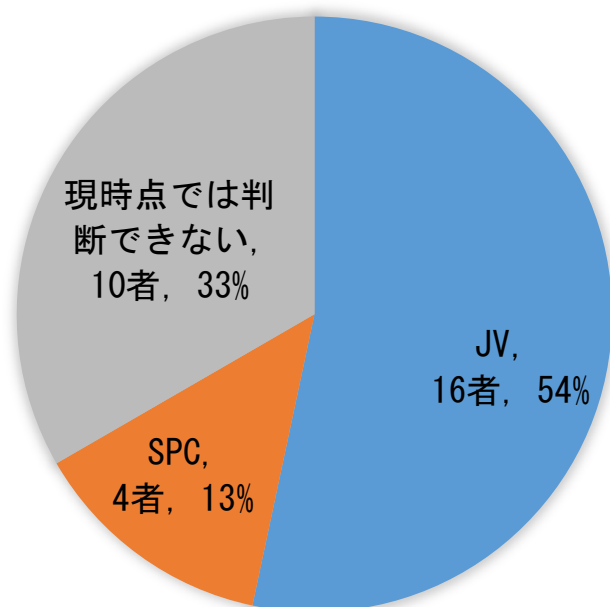
【結果】

市内外ともに構成員または下請企業としての参入を希望する企業が合わせて約6割を占めました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

4.2 本市がW-PPPを導入する場合、実施体制として①JV（共同企業体）を組成しW-PPP受託者となるケース、②SPC（特別目的会社）を設立しW-PPP受託者となるケースを想定しています。これらのケースについて希望する実施体制をお答えください。
（複数回答可）

実施体制



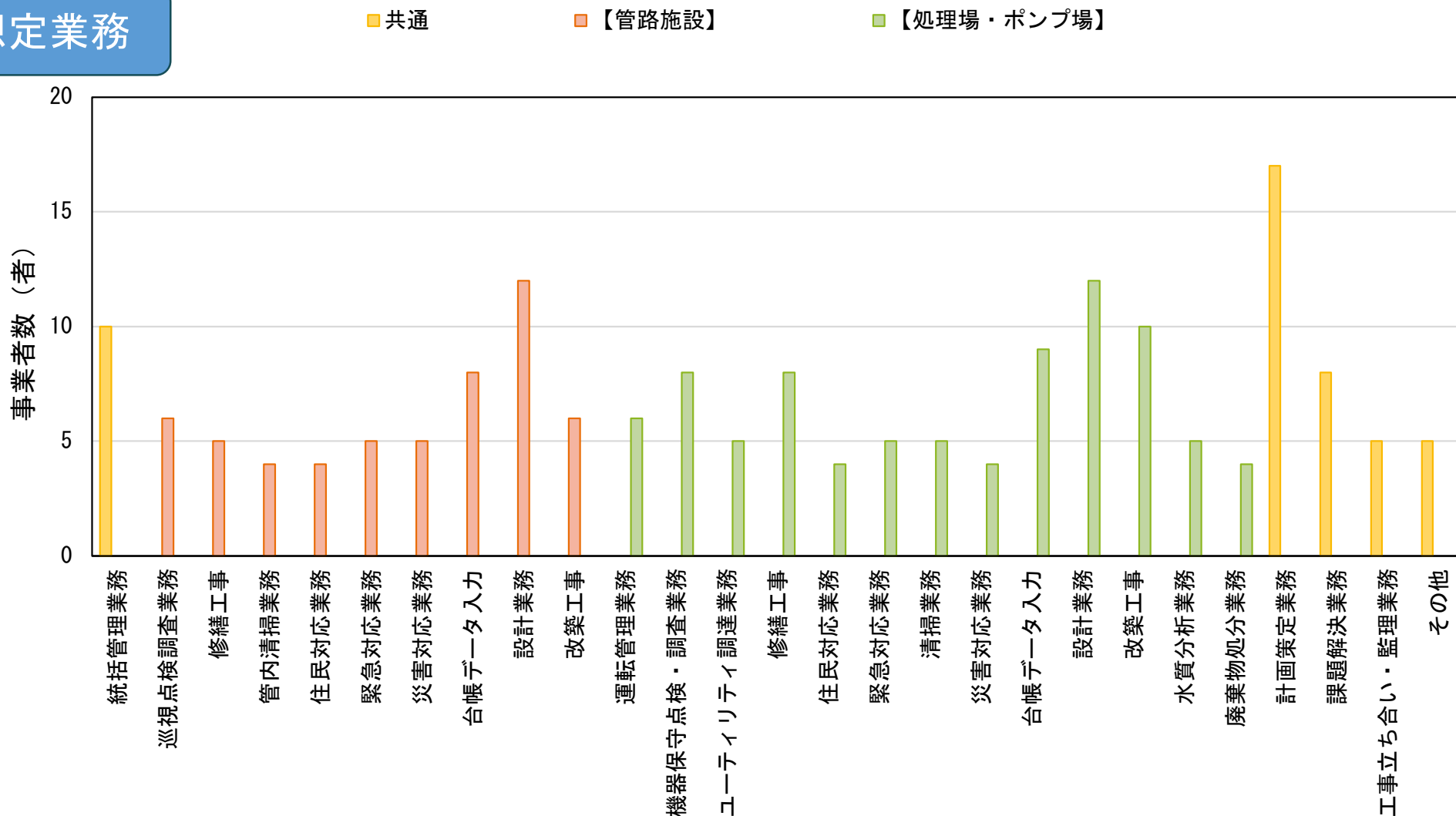
【結果】

JVを組成し受託者となる形態を希望する企業が54%と過半数を占めました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

4.3 W-PPPへ参入する場合に貴社が担当する想定業務内容についてお答えください。
(複数回答可)

想定業務

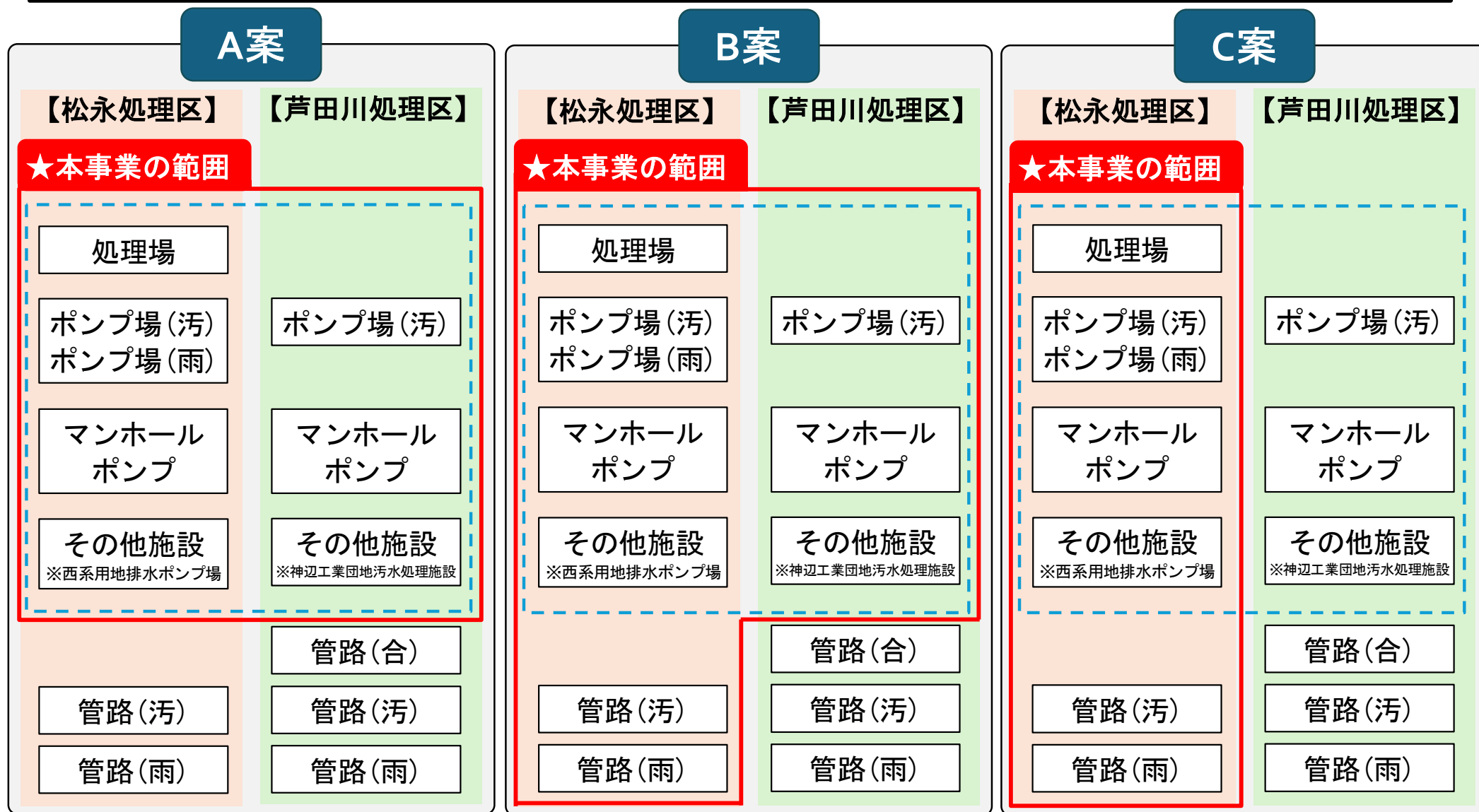


【結果】

各業務に対して4者以上が参入を想定しており、幅広い事業者の参画意向が確認されました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

本市では、事前に地元企業を中心にプレマーケットサウンディング及び職員アンケートを実施し、導入可能性が高い事業スキーム案として、松永処理区を基本としつつ、下記の3案より対象施設を選定する方針で検討中です。

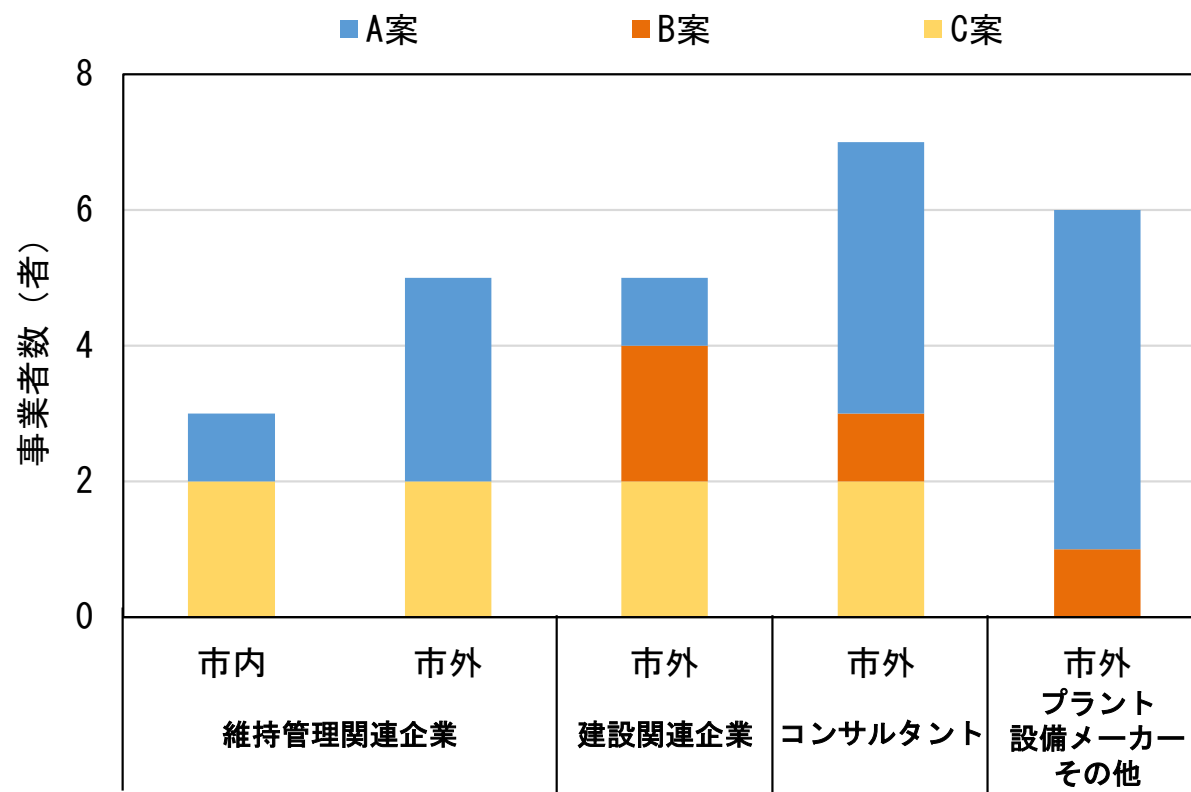
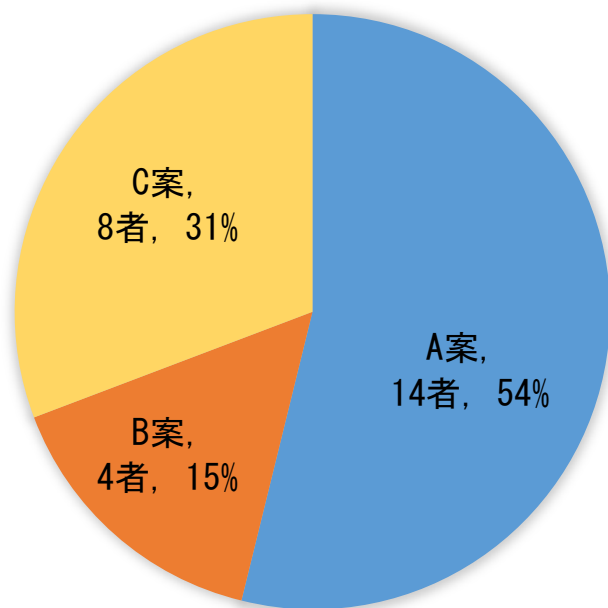


：松永浄化センター外污水处理施設等包括的維持管理業務委託（Lv2.5）範囲

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.1 事業スキームA、B、C案の内、貴社が最も参入しやすいと考える業務範囲を、優先順位を付けてお答えください。

対象業務範囲

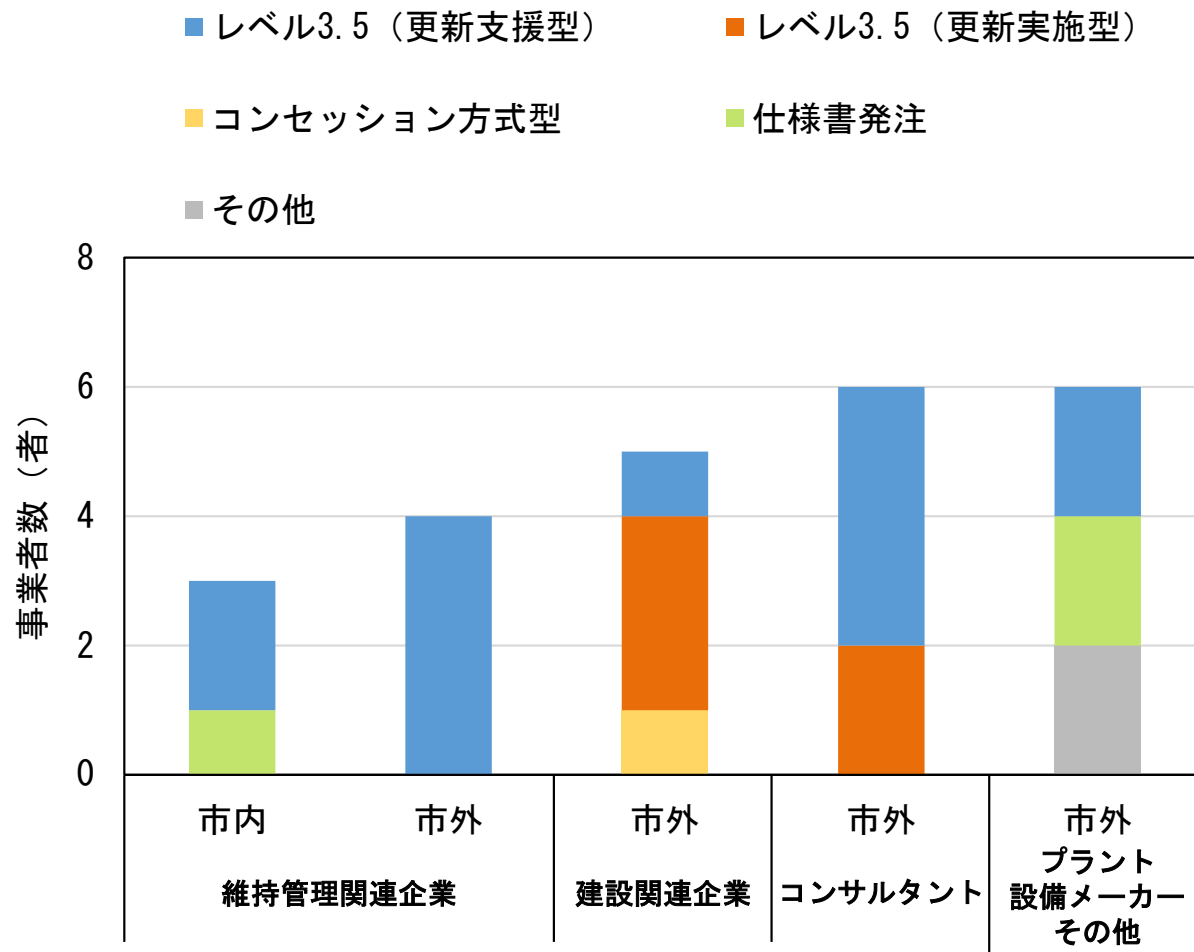
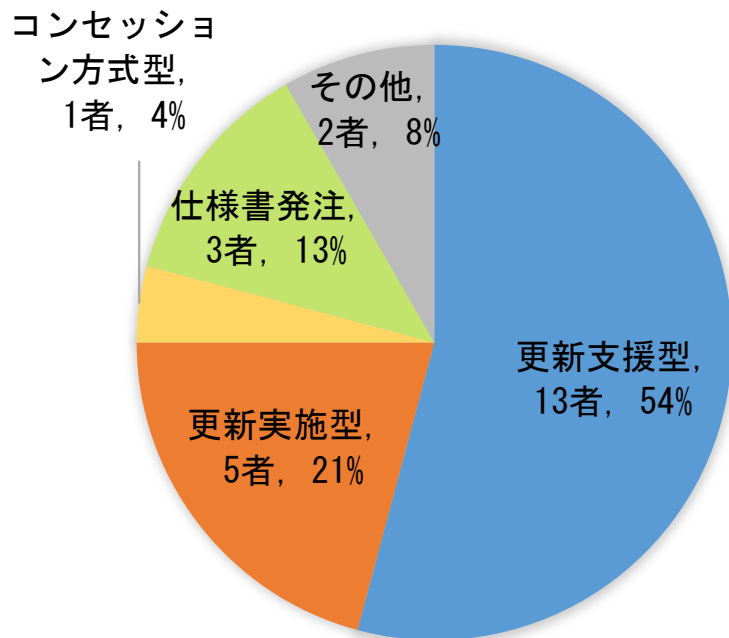


【結果】
A案が54%と過半数を占める結果となりました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.2 貴社が最も参入しやすいと考える処理場（ポンプ場等含む）の実施形態をお答えください。（複数回答可）

実施形態 （処理場・ポンプ場）



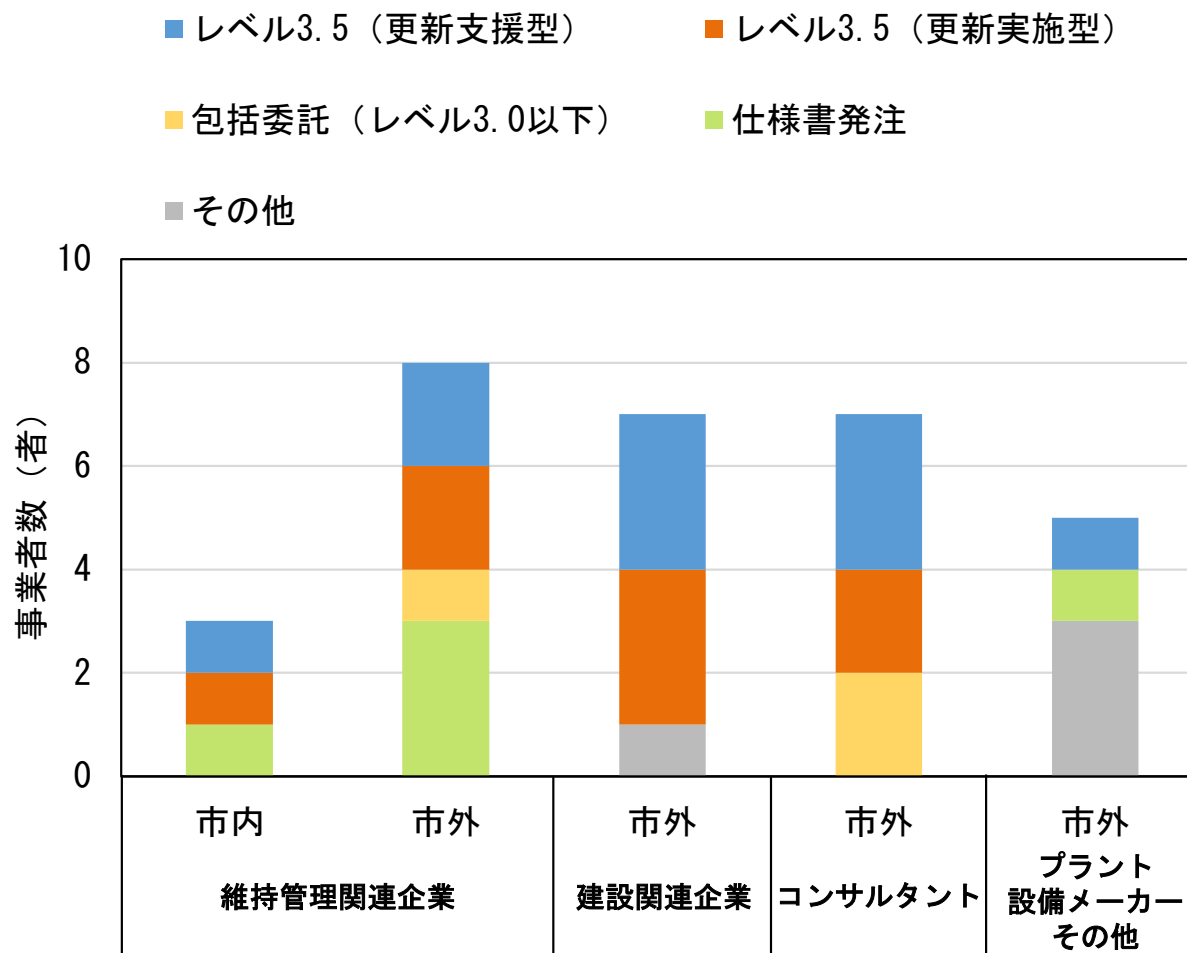
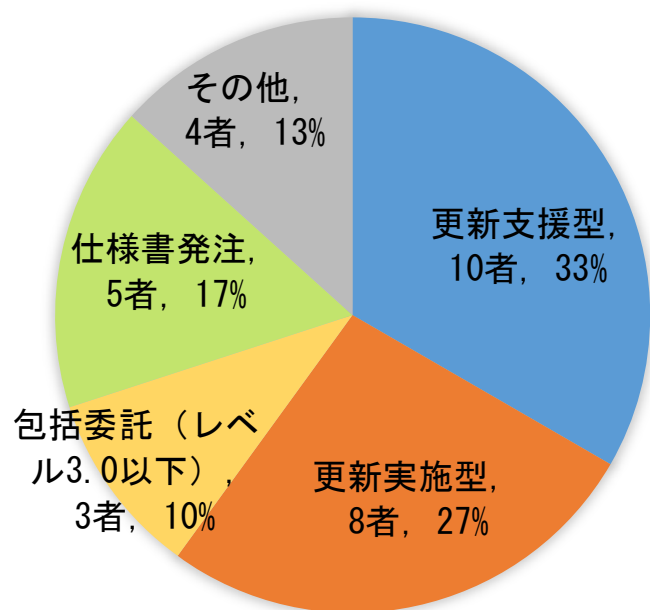
【結果】

全体ではレベル3.5（更新支援型）が13者（54%）と過半数を占めました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.3 貴社が最も参入しやすいと考える管路施設の実施形態をお答えください。
(複数回答可)

実施形態 (管路施設)



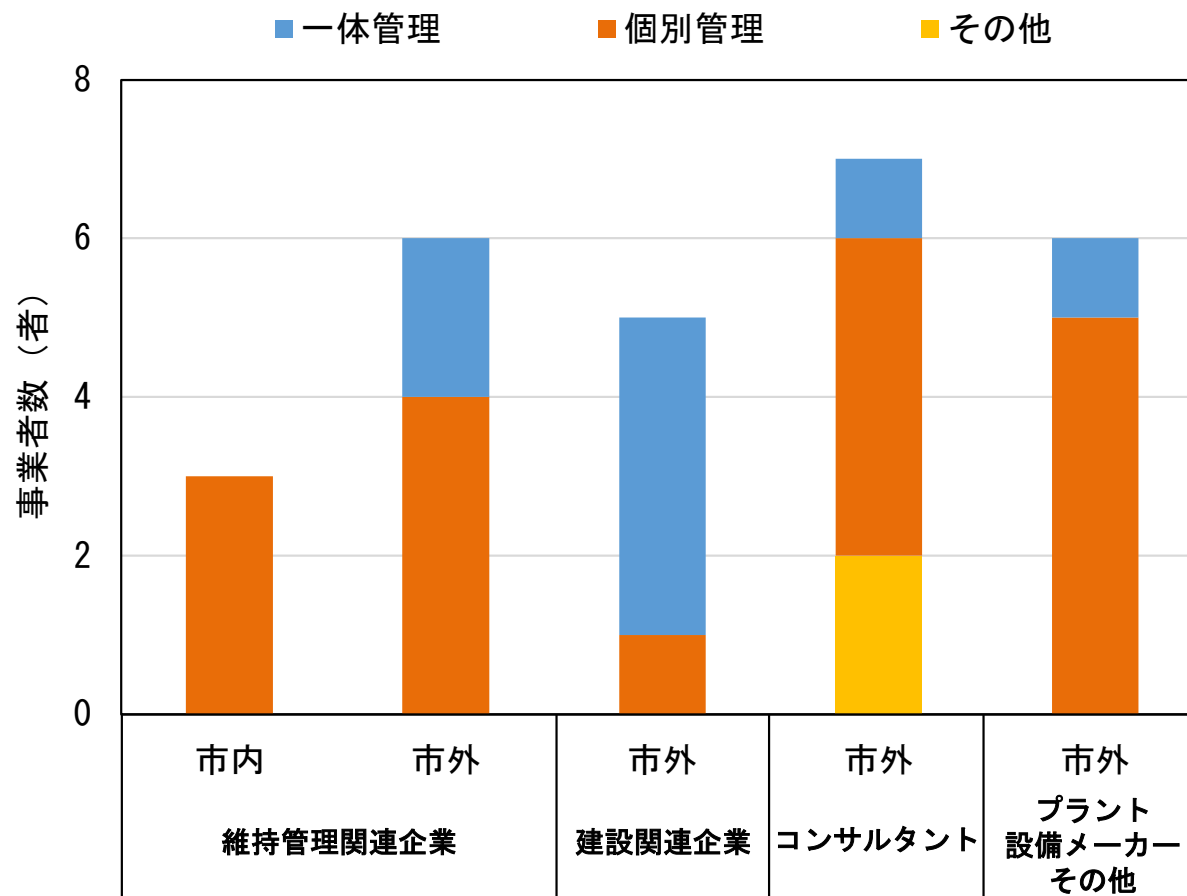
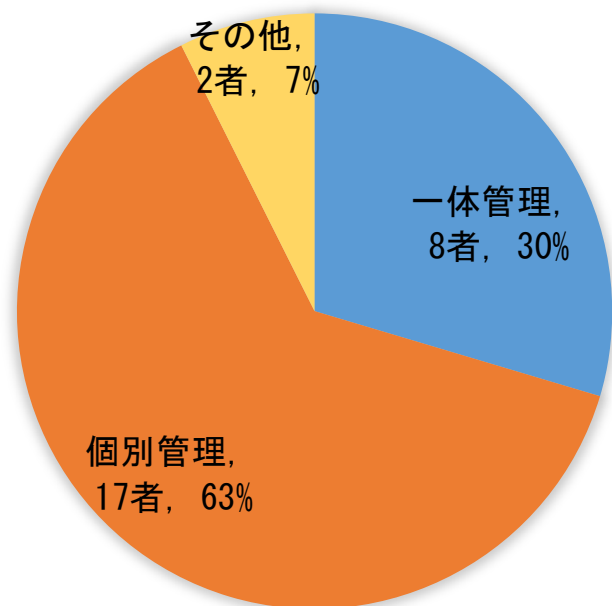
【結果】

全体ではレベル3.5 (更新支援型) が10者 (33%) と最も多い結果となりました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.4 「処理場・ポンプ場施設」と「管路施設」の管理形態について、「一体管理」もしくは「個別管理」のどちらがよいかお答えください。

管理形態



【結果】

全体では個別管理が17者（63%）と過半数を占めました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.4 「処理場・ポンプ場施設」と「管路施設」の管理形態について、「一体管理」もしくは「個別管理」のどちらがよいかお答えください。

管理形態(回答理由)

一体管理によるスケールメリットによりコスト縮減が期待できる



6者

一体的な統括管理による民間ノウハウの発揮、維持管理の効率化が可能



7者

管理主体を一本化することで責任の所在が明確になり、発注・契約事務を簡素化できる



5者

「処理場・ポンプ場施設」と「管路施設」では、業務に関連性が少なく、知見・ノウハウを十分に活かさない。



12者

これまで関わりのなかった異業種同士でJV等を組まなくてはならないため、潜在的なリスクが大きい。



6者

「処理場・ポンプ場施設」と「管路施設」では、リスクが異なり、リスク管理上契約を分離した方が良い。



16者

個別管理の方が現状の体制からの移行リスクが小さく、スモールスタートが可能。



13者

【結果】

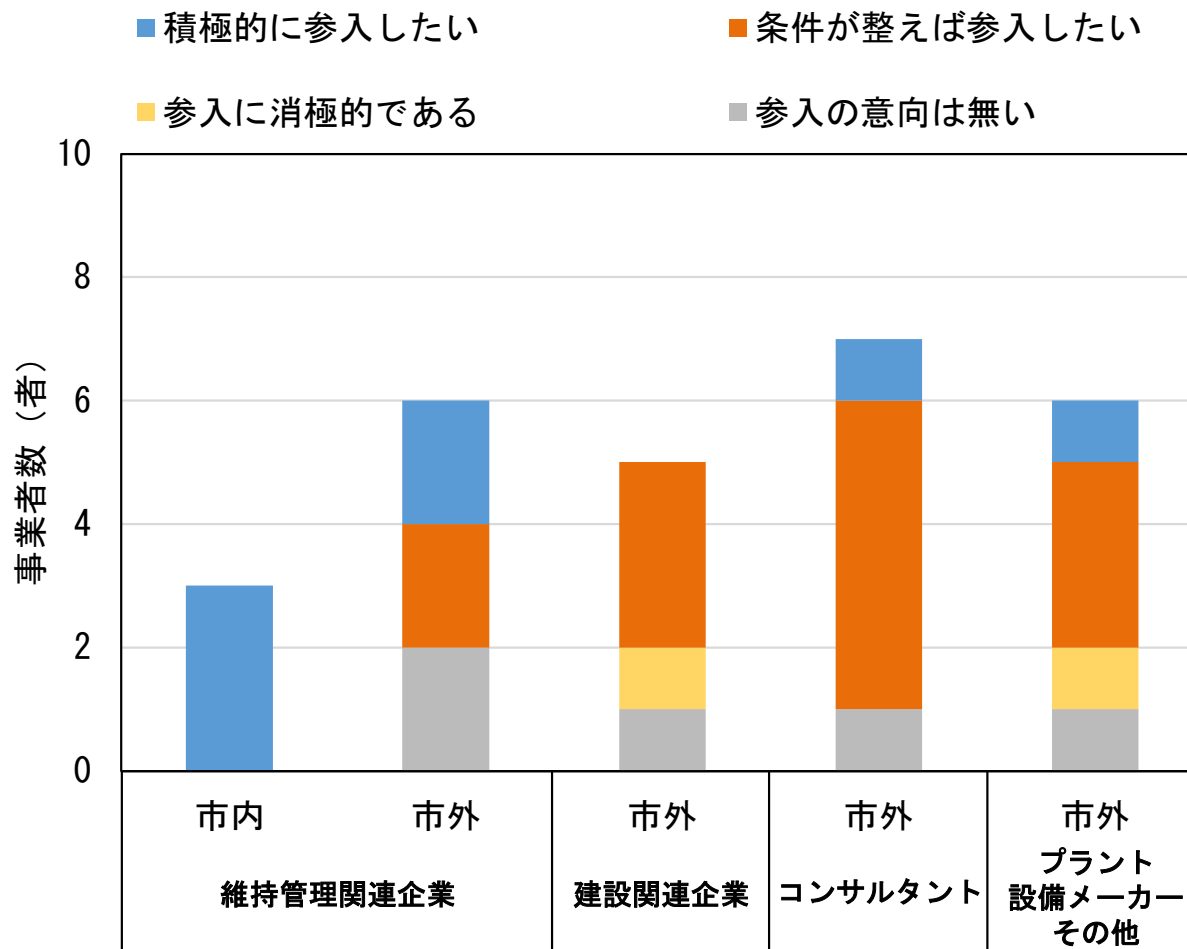
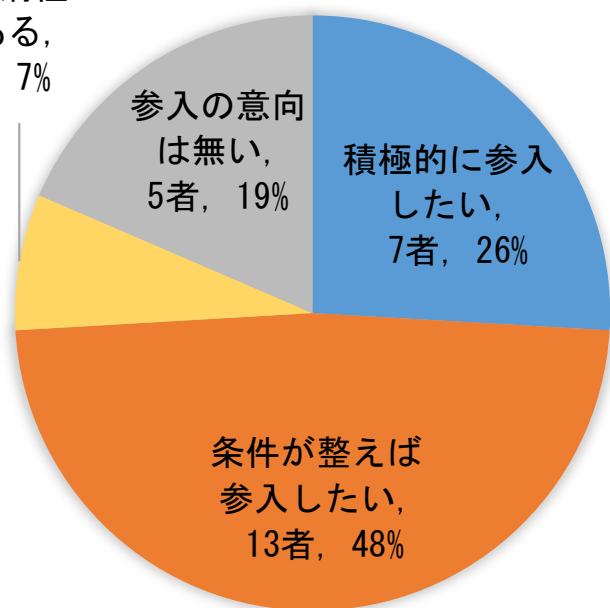
処理場・ポンプ場施設と管路施設では業務の関連性が低く、リスク管理及びスモールスタートの観点から、個別管理を望む意見が多く見られる。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.5 仮にW-PPPの事業スキームA案とし、実施形態は更新支援型、実施期間は10年間とした場合の、貴社の参入意欲についてお答えください。

A案の参入意欲

参入に消極的である,
2者, 7%



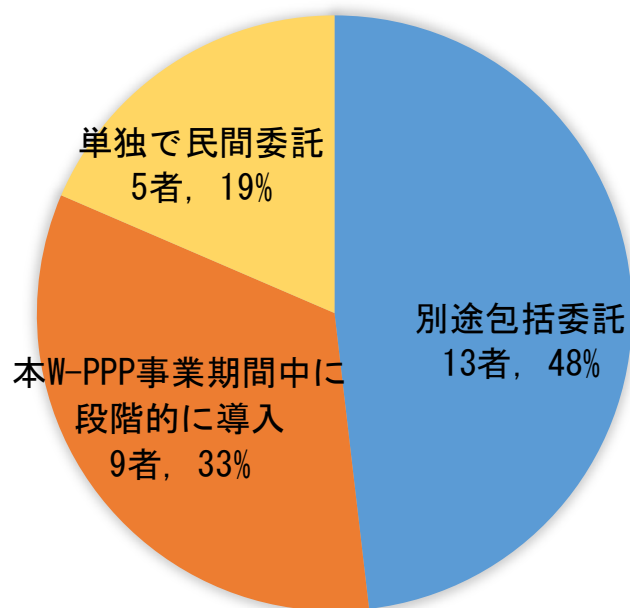
【結果】

条件次第で参入を希望する企業を含めると、7割以上の企業から参入に前向きな回答が得られました。

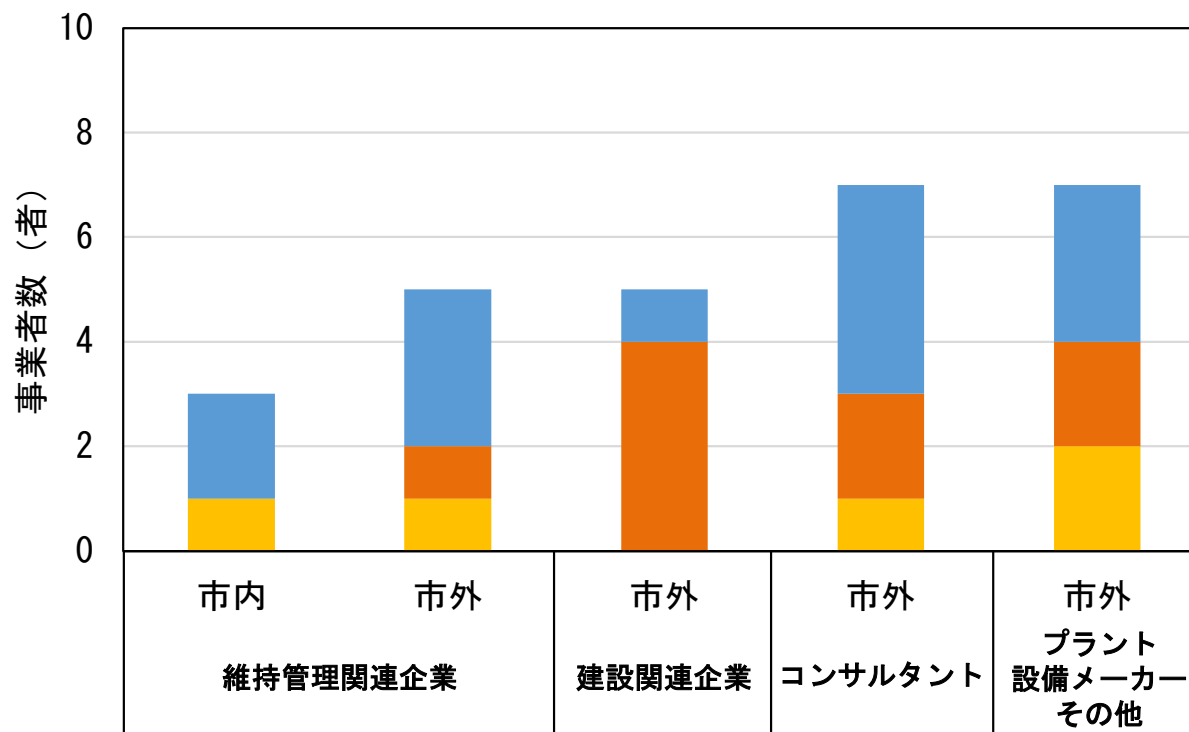
5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.5.1 「管路施設を別途包括委託又は段階導入とする」場合、貴社が最も参入しやすいと考える実施形態をお答えください。

管路施設の実施形態



- 管路施設は本W-PPP対象外として、まずは別途包括委託で運用する。将来的に準備が整い次第、W-PPPへ段階的に導入するスキーム
- 管路施設は本W-PPPの事業期間中に業務範囲に加える事を想定し、当面は別途包括委託等で運用し、W-PPPへ段階的に導入するスキーム
- 管路施設はW-PPPの対象に加えず、管路施設単独で民間委託を実施するスキーム



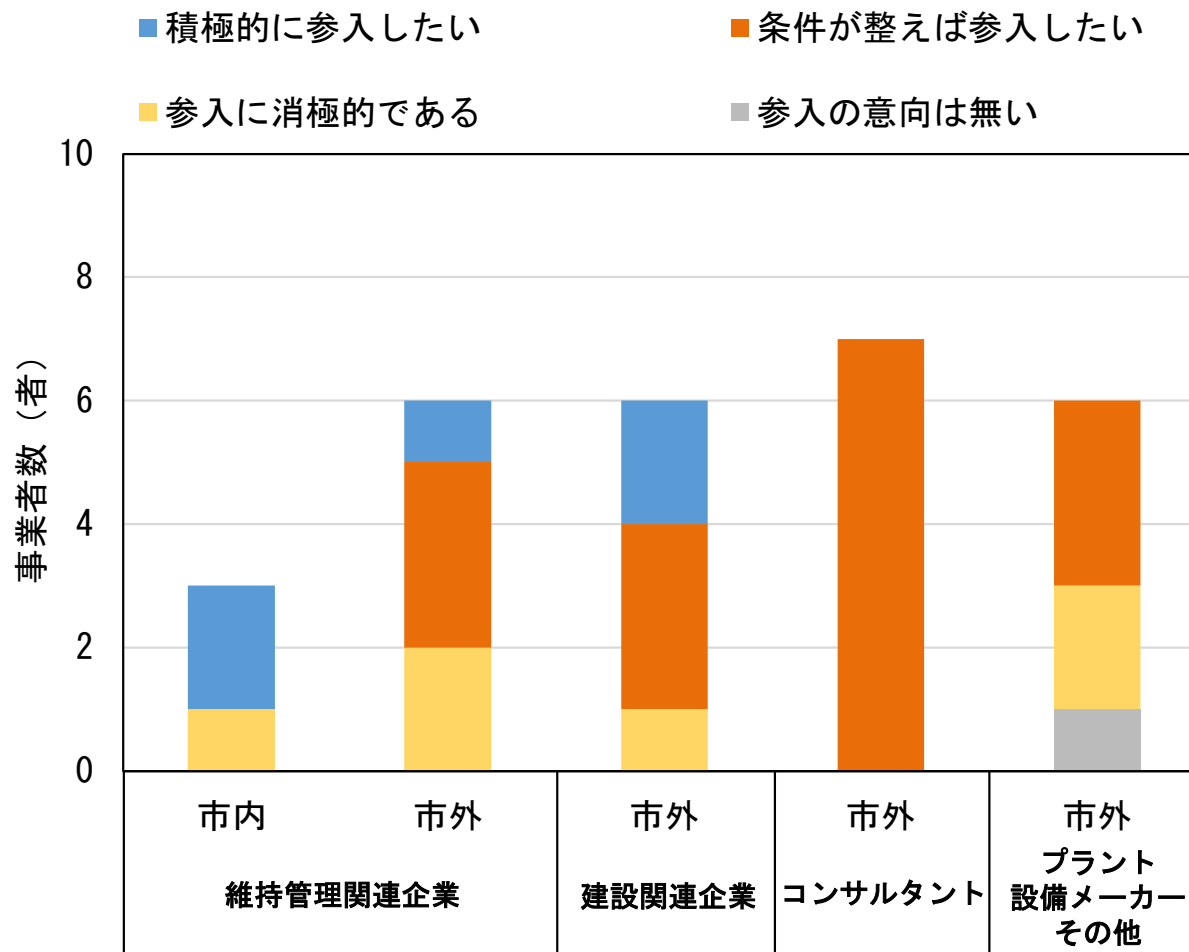
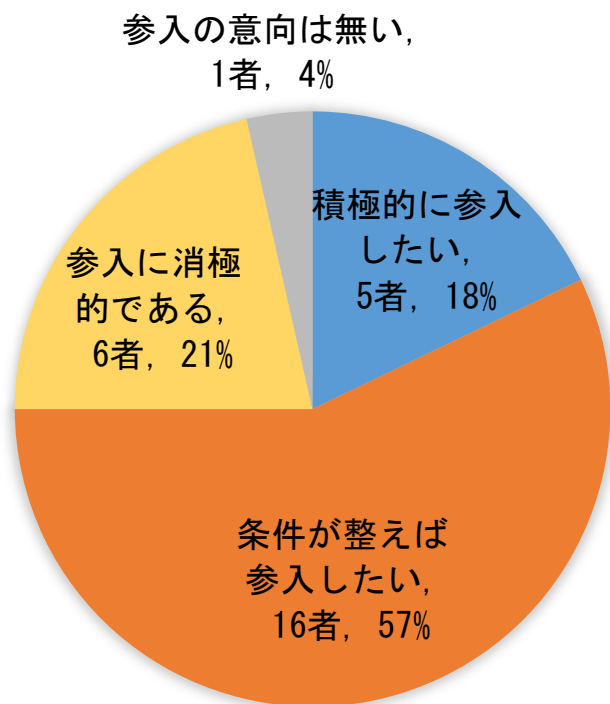
【結果】

全体では、管路施設は別途包括委託とするスキームが約半数を占めました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.6 仮にW-PPPの事業スキームB案とし、実施形態は更新支援型、実施期間は10年間とした場合の、貴社の参入意欲についてお答えください。

B案の参入意欲



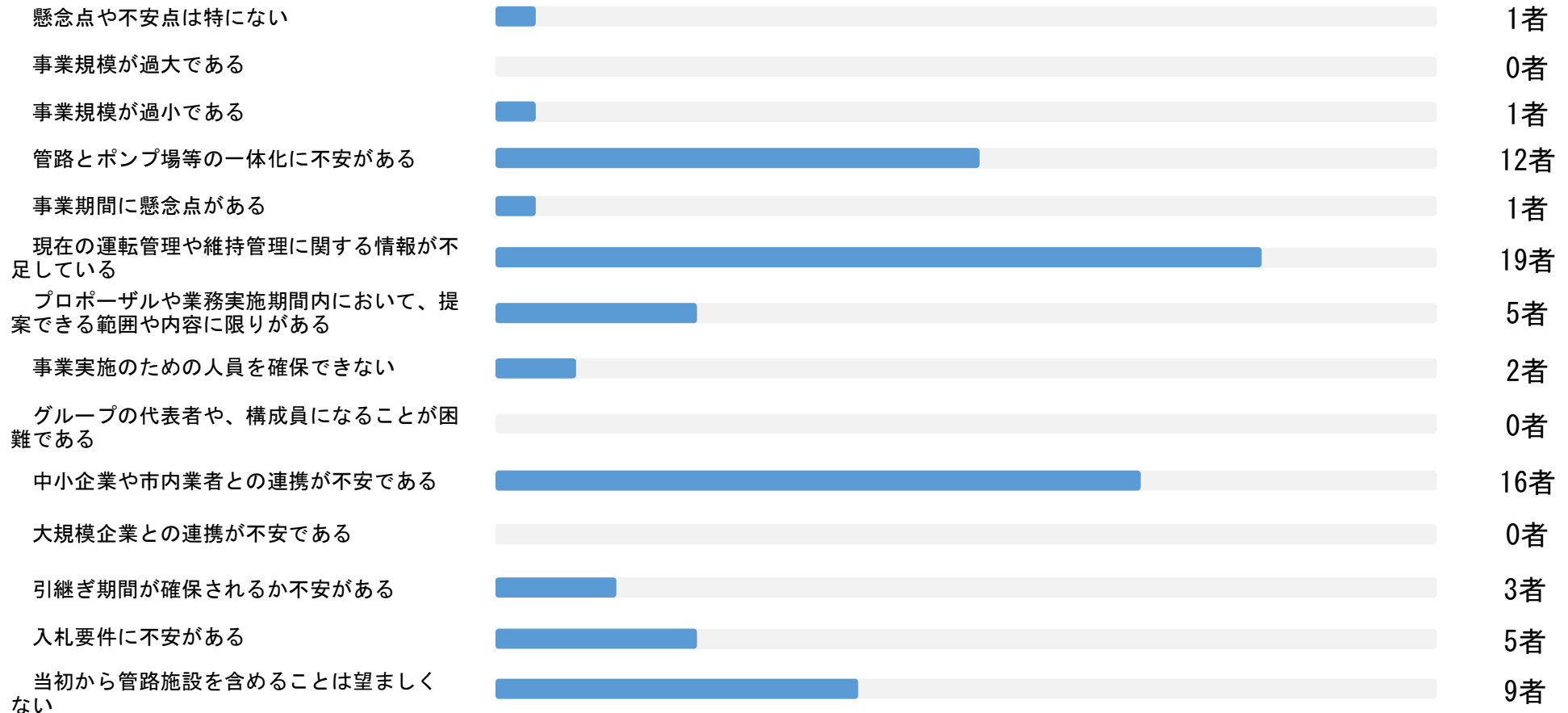
【結果】

7割以上の企業から参入に前向きな回答が得られました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.6.1 B案の「W-PPP導入当初から管路施設を業務範囲に含める」スキームについて、貴社の参入検討における懸念点や不安点についてお答えください。（複数回答可）

B案の管路施設について



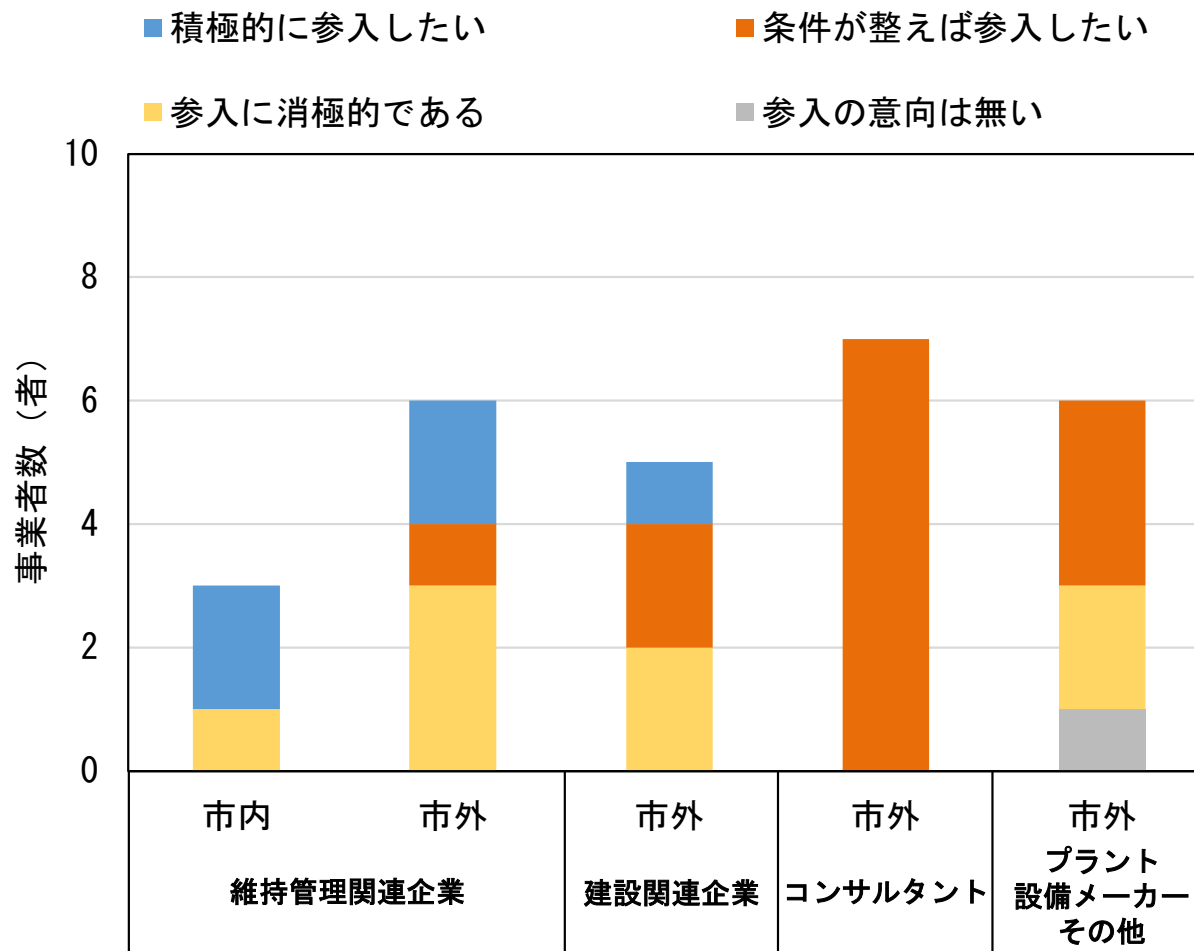
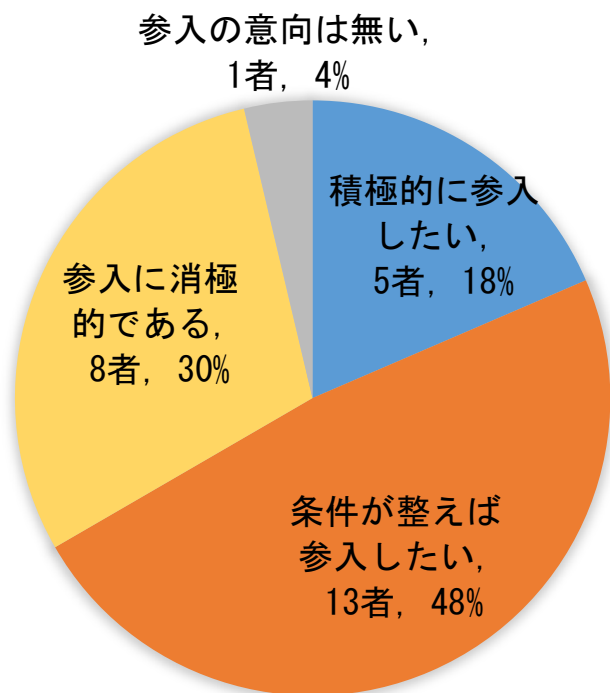
【結果】

現状に関する情報不足や処理場・ポンプ場施設と管路施設の一体化、企業間の連携に対する不安が大きいという意見が多く見られる。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.7 仮にW-PPPの事業スキームC案とし、実施形態は更新支援型、実施期間は10年間とした場合の、貴社の参入意欲についてお答えください。

C案の参入意欲



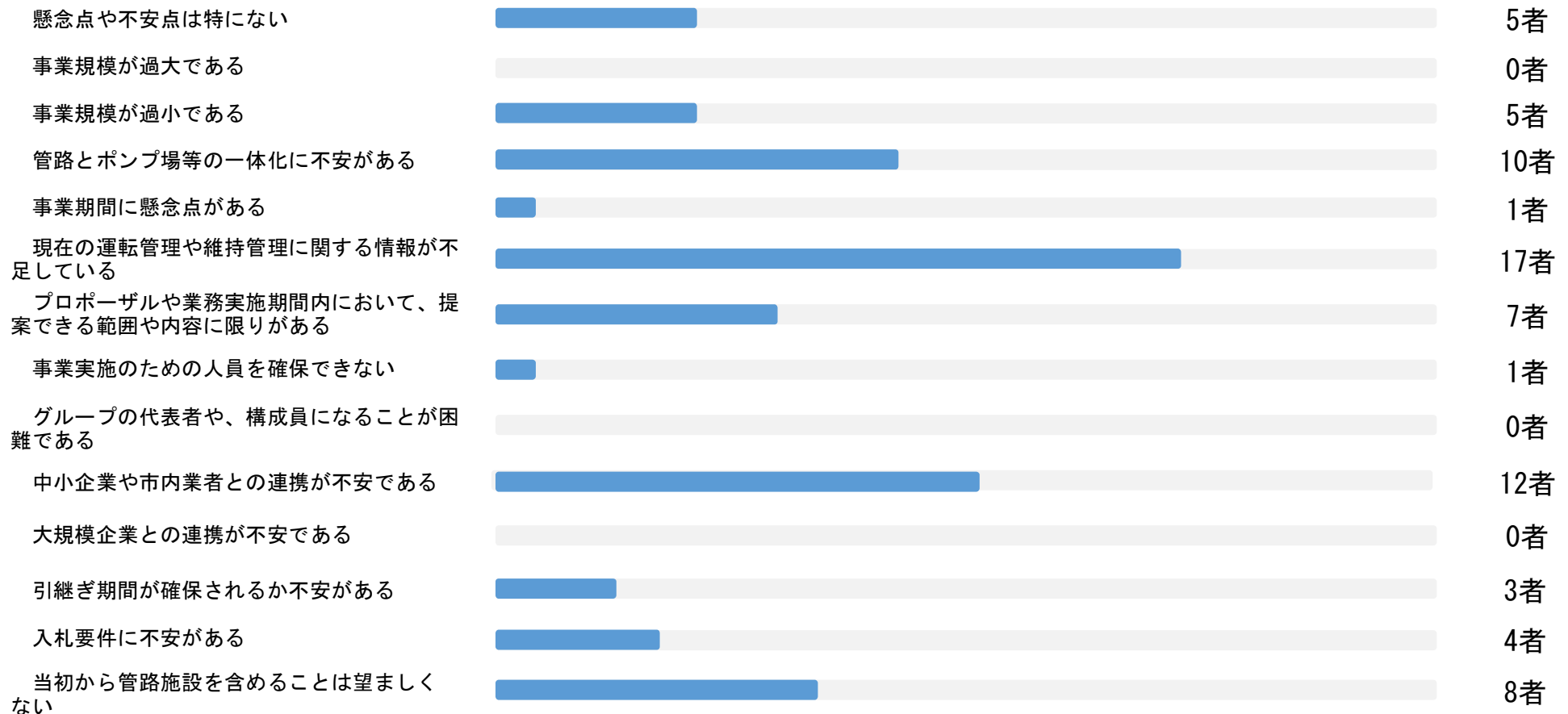
【結果】

7割程度の企業から参入に前向きな回答が得られました。

5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.7.1 C案の「W-PPP導入当初から管路施設を業務範囲に含める」スキームについて、貴社の参入検討における懸念点や不安点についてお答えください。（複数回答可）

C案の管路施設について



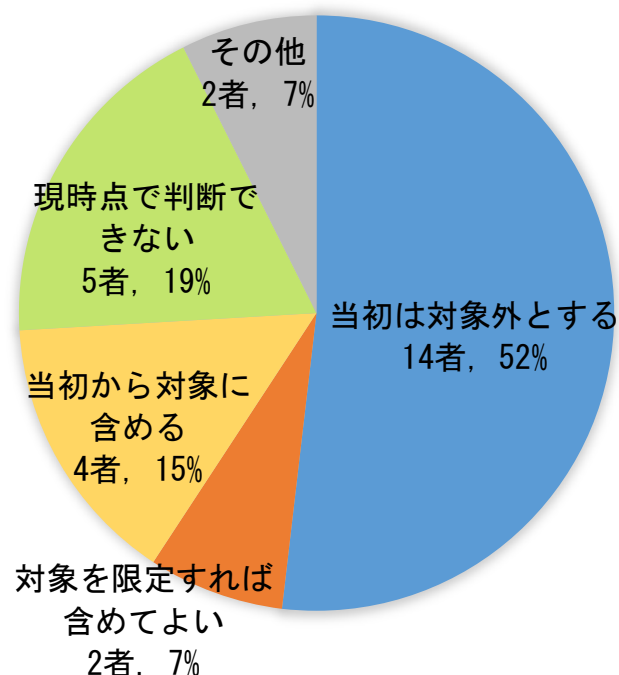
【結果】

現状に関する情報不足や処理場・ポンプ場施設と管路施設の一体化、企業間の連携に対する不安が大きいという意見が多く見られました。

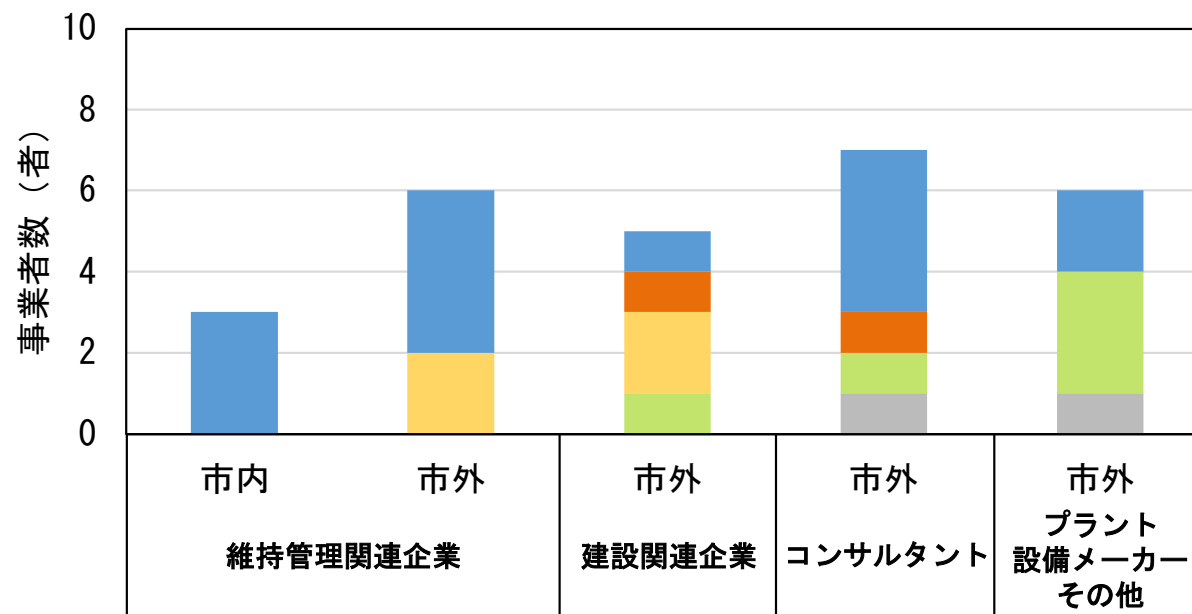
5. 「第1回アンケート調査結果」の概要

5.8 本市がW-PPPを導入する場合、管路施設の扱いとして最も望ましいと考えるものを1つ選択してください。

管路施設の扱いについて



- 当初はW-PPPの対象外とし、データ整備・更新需要整理後に段階的な導入を検討することが望ましい
- 処理区又は業務内容を限定すれば、管路施設の一部を対象に含めてもよい
- 当初からW-PPPの対象に含めることが望ましい
- 現時点では判断できない
- その他



【結果】

全体では、管路施設を当初はW-PPPの対象外とし、段階的な導入を希望する回答が14者（52%）と過半数を占めました。